

食品に関するリスクコミュニケーション～食品添加物及び食品中の残留農薬に関する安全対策について～
 (平成19年2月9日開催：秋田市)
アンケート集計結果

参加人数 217名
 アンケート回答者数 164名 回答率 75.6%

Q1 ご自身について、ご回答ください。

1 性別		
1 男性	80	(48.8%)
2 女性	81	(49.4%)
2 年齢		
1 ～19歳	1	(0.6%)
2 20歳代	3	(1.8%)
3 30歳代	18	(11.0%)
4 40歳代	24	(14.6%)
5 50歳代	55	(33.5%)
6 60歳代	41	(25.0%)
7 70歳～	19	(11.6%)
3 ご所属		
1 消費者(団体を含む)	56	(34.2%)
2 生産者	18	(11.0%)
3 製造・加工業	17	(10.4%)
4 流通・販売業	10	(6.1%)
5 報道関係者	0	(0.0%)
6 行政関係(独法含む)	34	(20.7%)
7 その他	23	(14.0%)
4 本日参加された目的		
1 食品の安全性の問題に関心があるため	103	(62.8%)
2 食品添加物の安全対策について知るため	107	(65.2%)
3 食品中の残留農薬等に関する安全対策について知るため	107	(65.2%)
4 パネリストや参加者の意見を聴くため	69	(42.1%)
5 意見・要望を述べるため	4	(2.4%)
6 その他	2	(1.2%)

Q2 本日のリスクコミュニケーションの実施について、何でお知りになりましたか。

1 新聞	12	(7.3%)
2 ラジオ	3	(1.8%)
3 雑誌、情報誌、自治体広報紙等	10	(6.1%)
4 ポスター又はちらし	3	(1.8%)
5 ホームページ	17	(10.4%)
6 所属団体からの連絡	113	(68.9%)
7 その他	11	(6.7%)

Q3 演者からの説明についてお伺いします。説明内容について、十分に理解することができましたか

1 できた	36	(22.0%)
2 おおむねできた	101	(61.6%)
3 あまりできなかった	22	(13.4%)
4 できなかった	1	(0.6%)
SQ1 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。(当てはまるものを全て)		
1 用語など内容が理解しにくい。	10	
2 説明資料が見にくい。	4	
3 説明が聞き取りにくい。	7	
4 自分が理解していることとは異なる説明である。	2	
5 その他	3	

Q4 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。パネルディスカッション・意見交換での議論の内容等について理解できましたか?

1 できた	35	(21.3%)
2 おおむねできた	107	(65.2%)
3 あまりできなかった	15	(9.2%)
4 できなかった	2	(1.2%)
SQ1 十分に理解することができなかったテーマは次のどれですか(当てはまるもの全て)		
1 食品添加物の安全対策について	10	
2 食品中の残留農薬等に関する安全対策について	11	
SQ2 十分に理解することができなかった理由は何ですか(当てはまるもの全て)		
1 用語など発言の内容が理解しにくい。	5	
2 発言が聞き取りにくい。	2	
3 その他	5	

Q5 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。パネルディスカッション・意見交換において、自分とは異なる見解の発言はありましたか?

1 あった	65	(39.6%)
2 なかった	73	(44.5%)
SQ1 異なる見解の発言の趣旨は理解することができましたか。		
1 できた	15	
2 おおむねできた	37	
3 あまりできなかった	13	

4	できなかった	5
SQ2 発言の趣旨が十分に理解することができなかった理由は何ですか。		
1	そのような見解に立つことが信じられない。	4
2	そのような見解に立つ理由が述べられていなかった。	10
3	その他	2

Q6 本日のリスクコミュニケーションの進め方についてお尋ねします。

1)良かったと思う点

行政色が強くなってよかった。

関心の高い添加物の話だったので、とてもよかった。国と県のとりくみとして分けていたのでわかりやすかった。

コーディネーターの方の進め方がとてもわかりやすくよかった。

司会進行がやわらかくて聞きやすたいへんよかったです。

様々の意見が出て良かったと思いました。

立場の違う方々の意見が聞くことができてよかった。

現在の生産者、行政、販売の取組方、消費者の意識が確認できて良かった。

色々な考え方を持っている人がいると理解できた。

質問者の話を要点をまとめ、整理してから回答者に振り向けていたこと

質問する方も回答する方も要領を得てスムーズに進んだこと

初めて参加しましたが、いろいろ意見交換を聞いて勉強になりました。わかりやすかったと思います。

目的にある問題についての認識を共有することが会場内ではできたと思われる。

各業者でお客様側の立場になって安全・安心に厳しく取り組んでいるなどひしひしと感じられました。

会場からの発言を多くいただいたのがよかった。

コーディネーターさんの話がとても専門的に、また、それぞれの企業での取組等やはり食品に対しての安全にそれぞれたいへんな苦勞がわかった様な気がします

一般参加者の意見もたくさん出て、それに答えるパネリストもくわしく回答してくださってよかった。

わかりやすい進行でたいへんよかった。

マックスバリュの取組が参考になった

食品に関する安全について国、県、事業者、フロアからの意見などありよかったと思う。

進行のされ方がわかりやすくまとめられていた。

色々な意見が出て大変参考になりました。生産者としての立場と消費者としての立場は相交えない立場にあると思います。生産者としては虫、病気になるとう出荷できなくなるし、消費者としては薬は使わないでほしいと思っているし、むずかしいところだと思っています。

パネリストの方々の知識が豊かで良かったと思います

消費者の意見をきくことができました。

質問されたことに対してのコーディネーターの理解が良くしっかりと答えが出されていてよかった。

コーディネーターが上手にしてくれたので、質問者の方の理解を得たのだと思います。

直売所で勉強したことを深く勉強し、皆の意見でよりわかりました。

事業者の取組が目に見えるようになったと思われる。消費者の意見がどんどん国へつながっていくのではないかとと思う点がよかった。

我々の立場で物事を考えていただいていると理解できました。

進行役の方の意見のとりまとめかたがとてもわかりやすく意義のある場になりました。

意見が多くよかった。

フロア質問により、よりよく理解できるようなことで良かった。

それぞれの立場の方々からご意見をきくことができました。ありがとうございました。

パネリストの発言を聞いて安心したところ

会場からの発言が多く関心があることはいいと思うが、理解度については疑問

コーディネーターの方の進行のさせ方が良く、意見等をまとめて聞きやすかったです。

長持させるするため添加物を使わざるをえないとはっきりしてくれた(反面不安もある)

鳥海座長の進行はよかった。

消費、生産するものの本音、意見が聞けた。鳥海さんの議事進行

行政も食品をあつかっている方達は懸命にやっていることには感謝しますが、まだ理解するには時間がかかる様に思います。

コーディネーターの鳥海先生の進行が非常にすばらしかった。

パネルディスカッション・意見交換会でのお話はとても参考になりました

食の安全性をくわしく勉強できました。

消費者の無知からくる誤認というものが多くあることが判った。

いろいろな意見が出ていた。

コーディネーターの選択(職種も含めて)が非常に良かった。とても身近な意見交換会であったと思う。

厚生労働省のプレゼンテーションは大変分かりやすかった

進行が良かった

コーディネーターでパネルディスカッションの進め方が大きく違う。鳥海先生はすばらしかった。パネラー特にたけやの古宮は質問に対しての答えがなっていない。地産地消の事を聞いているのではない。添加物の事で答えがチンプンカンプン。

食品添加物が悪い物でなく、自分たちがおいしく豊かな食生活を送るために必要なものであることが良く分かりました。やはり私自身も消費者として安全についてもっと勉強していくべきだと思いました。

具体的な問題をとりあげて回答されている点が良かった。

話のまとめ方がよかった。

食品添加物の減少に努力されておられ感謝した。

積極的な発言があり、回答者もご苦勞様でした。

毎日の生活に欠かせない食品なので添加物に対して詳しく説明されていたし農業についても内容があった。

添加物は有効に使用するべき。食品自身を大切に使用するためにも。

食の大切さやいろいろな面で取組が行われていることが分かった

わりあい具体的で分かりやすかった

司会が落ち着いていて良い

意見交換に活発な質問が寄せられ製造・生産・消費者各々から意見が出て面白く拝聴した。しかしながら質問に対して満足に答えられたものは少ないと思われた。

事前意見・質問形式は参加者の考え方が分かるので大変良かった。

国・県の対策が理解できた。パネル発表でそれぞれ安全安心に努力していることが理解できた。

パネラーの人选

消費者の生の声が聞けたこと

進行がよい

意見が多数出て良かった。

意見の要点をうまくとりまとめたコーディネーターがすばしかった。

意見に適切に回答されていた。ごろうさまです。

本音トークであったと思う(農家の農薬使用等)

わかりやすく有意義に過ごせました

2)改善すべきと思う点

意見に対しての答え方があまりよく具体的にできていない。パネリストの方々からは自分のやっていることを正当化しすぎている。

若い消費者がもう少し欲しかった

時間が足りない。関心の高い分野なのでもう少しヒアリングできたらよいかと。

テーマは1つの方がいい

農家や食品製造業者、販売業者、消費者の3つの視点でもっとつこんだ話し合いが必要だと思いました。

根本的に考えることが必要だと思う。食糧自給率をふまえて農業の在り方(水産、畜産を含めて)考えるべきではないだろうか。

フロアからの意見に回答してもらほうがより身近にとらえられるし、自分のこととして考えられるのでもう少し質疑に時間が欲しかったです。

意見交換の時間をもっと長くとして欲しい

何かコーディネーターのお話は自分よがりのまゆつばのご意見が多いと思いました。

司会者が少々早口です。とよりますのでもう少しゆっくり説明下さい。せかされているようです。

各業者さんよりも農林水産省、厚生労働省の方がのんびりしているのではないかと。

パワーポイントの説明はともわかりやすかったが、マウス(レーザー?)が激しく動くと疲れたし、頭が痛かった。私が慣れていないためしょうがないが、余り動かさないでいただければよかった。

消費者代表も出席してほしかった。

意見交換の時間をもっとあればよい

時間が短い

消費者の食品添加物や農薬に対する偏見、つまり悪いものだと思こんでいることを転換させるような方向性を持たせた内容とした方がいい。

パネラーのみなさんの発言時間は長い。気持ちは伝わってくるが、消費者の問題を重視するべきでは。

結論に向けての意見があまりまとまりがなかったと思います。個々の結果発表に終わったかんじします。

パネルディスカッションの時間が少ないのではないかと

もう少しパネラーの話を短くして質問を多くしてくれたらいいと思います。全県から時間かけてきていますので勉強していきたいと思いました。

生産者としては自分で食べられるものをつくらせたいと思います。

人の話をきくあとで質問しようと思ったのですが、時間が足りなかったです。

会場からの意見について、事前質問などでは思いつかないことが出てくる場だと思いますので、もう少し時間をとっていただきたいかと思っています。また、意見や質問について何らかの方法で対応していただきたいかと思いました。

ことがあってからでは大変なので、その前に安全性をお願いしたいです。

情報開示することがリスクコミュニケーションで一番大切という考え方に向かった方がいいのでは。

参加者が多く質問するのに度胸がある。小グループに分けて意見を出し合う方法でも良い(後で回答をいただく形)

パネラーは建前論が多く、もっと素直に発言した方がいいのでは(互いの信頼感につながる)

時間が足りない。

時間が不足だったのか、テーマ2つは重かったのか、時間の配分が良くない

科学的という言葉の多様性が不安!! 人類は自然界を科学でどの程度知ったつもりなのか

参加者からの意見をより多くしてほしい

秋田県の安全・安心のとりにくみの説明の中で、県のとりにくみから具体的に説明がありましたらもう少し分かりやすかったかと思っています

終了時間を守ってほしい。

司会者で発言時間の調整も必要です。

正しく添加物知識をもつこと。

環境、地球、人間の体を大切にすよ品を作っている業者を招いて、取組について聞きたい

パネラーも何か資料で、テーマに沿った主張見解があればより良いのでは。

取組の説明では目新しい情報が無く、広く浅い説明に終わり残念です。もっと深く掘り下げて説明してほしい。時間に制限があるのでテーマを絞ってもいいのでは。

一般の方々は添加物全てが理解できていないと思います。保存料、着色料・品質改良など区別して説明するべきではないかと。

色んな分野からのパネリストで話のまとまりが無かった。勉強になった発言はなかった。

パネリストの業者をつきあわせる会ではない。

パネラーの意見はある程度整理してもらよう十分な事前打ち合わせがほしい。(パネラーの発言が自由すぎて時間をくってしまった)

意見交換の中で残留農薬関係の時間が短かった。

Q7 その他、今回のリスクコミュニケーションについて、お気づきの点がありましたら記入願います。

国からもっと情報を発信して欲しい。あまりにもダメダメの情報で氾濫していると思う。添加物が全てダメという認識が少し変わった。国を信じようと思う。だから絶対裏切らないで欲しいです。

JAで営業している各地の産直に並んでいる農作物の検査は行っているのでしょうか。漬け物の添加物にサッカリンがあったり時々驚くことがあるんですが。

中林さんのお話がいまひとつわかりにくかった。

食品添加物が犠牲にされているのは何故かが出てなかったですが、それは健康に悪い、発がん性の有無が出されず、説明された方が発がん性がないといわれたのが驚きです。発がん性があるとされている学者も居ます。くわしい本も出されています。私はその「学者を信じ、添加物は避けて生協を利用しています。現在がん患者の方になったのはなぜでしょうか。添加物にして、農薬にして、化学物質は人間の身体に悪いので規制しているの出はないでしょうか。

秋田県からの報告の中で疑問があります。添加物と残留農薬のチェックで違反がなかったとは本当でしょうか。

食品製造者パネリストがあと1名いてもよかったのでは。添加物使用者側からの利点を聞きたかった。

専門用語等わかりやすさを配慮すべきかと。

今回の話は大変よくわかりましたが、化学物質について農家自身が出荷するものに対しては使用しているとの話におどろいたこと、また私自身自分で食べる野菜は作っていますが買う方も少しばかり形が悪くとも無視が食べれるものは外がないのではと思う。消費者自身も考え直すことが必要かと思う。

2項目を取り上げないで日を改めて2度に分けて会を開いたほうがよかった。パネリストがすべて大手の方だったので、小売店の方でも参加していただいたら身近なものに感じられるのではないかと。

消費者も安く品質も形も何もかも無条件に欲求するところに無理があることを認識すべきであると思いました。農家の方は自分のものだけでは無農薬にするというのは腹立たしさを感じました。

今回は厚生労働省の主催で実施されておりますが、残留農薬や食品添加物等の点をもっと掘り下げるためには、農林水産省や経済産業省等を含めた総合的なリスクコミュニケーションの場を設ける必要があると感じています。例えば残留農薬の分析にしても手軽に安価で実施してもらえらる施設もなく、農作物を作る側や食品製造業者のリスクは違う意味で高くなっているのが現状です。今後に向けてより幅の広い視点で実施されるよう御検討下さい。

質疑応答についての、パネリストの方は、問題把握をせずに少々マイペースで回答されている方もいたように思われ、残念に思った。ただし活発に発言された研修会だったと思われる。

質疑応答するには時間が足らなかった。

たけやのパンの各種は他のメーカーによりほっていてもいつまでもカビが生えません。食パンも絶対添加物が入ってます。ですから私は知人にも何かの折にはたけやのパンは駄目と云っております。マックスバリュの野菜も水洗いにつけているでしょう。調べてください。

たいへん勉強になりました。

食品添加物、残留農薬について、すぐに見えない問題ですね。こどもに残す課題です。

コーディネーターの方が質問者の内容を即時に分かりやすく要約してくださったので、有意義な意見交換になったと思います。質問者に一つのみの質問に限りお願いし簡略にお話していただくようひとこと事前にあつてもよかったですかと思えます。

厚生労働省の説明で基準以下であれば健康影響がないと言ったが、10万分の1人は死亡の確率があるリスクを基本としている。複合汚染についてはNEDOでもCERIにおいても未だ結論のでないところであり、それをきちんと説明しなければならない。県のモニタリングについては、検体数の母集団を分母に示してからサンプル数をしめしてもらいたい。リスクとベネフィットについて国、県とも科学的知見をいち早く集積して説明しなければならない。

人々の立場で取り組んでいるのがわかった。私たち消費者の思いはやはり安心できる食材を家族に食べさせたいと思ってます。国で決めたからよい。加工業も事業のために範囲内で使用。しかし添加物も農薬もなければ本当にありがたい。そのような商品を選びたい。

もっとこういう会に参加したいと思いました。今回は企業、製造業者、消費者、その他多くの方々との意見交換ができたと思います。

結論として消費者の意識を変えるのが必要かと思えます。好き嫌い無くバランスよく食事がすることが大事であることがわかりました。農薬にしろ添加物にしろ消費者の要望があるため多量に使われると思えます。

食品安全のため、今後もチェック体制の監視をきちんとしていただきたいと思えます。

それぞれの立場の方々との交流がまだまだ不足だと思います。相互理解の必要性を厳しく感じ入りました。

基準に添った使い方、見方は自分たちでしっかり把握していかなければならないと思えます。

報道関係者に連絡があったでしょうか。関連団体だけでなく一般消費者達の意見も集まれる会に広げてもらいたい

こういう機会がもう少し多ければ市民をもっともって関心を持つのではないのでしょうか。体によい食品を食べて医療費を減らす県民になりたいと思えます。

フロアの中に工場長の方がいまして一夜にして信用をなくすという話をしましたが、消費者の万にももって現場を見て欲しいものです。最後にわかりやすい答えが出て安心しています。

行政の立場、消費者の立場、生産者の立場、販売者のたれば、それぞれ違うと思えますが、このようなチャンスをもっと作ってください。

地産地消もすべて自分の商品が売ればよいという営業戦略。鳥インフルエンザは家畜伝染病予防法の問題で、食品衛生上の問題ではない。

今後も全国で継続されることを希望。消費者の科学的レベルの向上を切に願うものです。

コーディネーターの方々のお話を聞いて、たいへん勉強になりました。添加物も農薬もわるいことはよくわかりますが、絶対使わないと良い商品はできません。適量を守って使っていただきたいものです。

テーマと議論が合っていない。商品情報をお客さまに開示することが大切です。その中でお客さまに判断材料を正しく与えることが今できることではないでしょうか？

食品添加物は今の世の中では使わなければならないが、安全基準は厳しいほどよいと思う。所得の低い人は食品添加物入りの安いもの、所得高い人は安全と思われ価格の高い無農薬かな？わからないことなどはホームページでといわれますが、誰でもコンピューターを使えるとは限りません。このような会は県の中央地区だけでなく、北、南と分けて実施するものよいのではないのでしょうか。カタカナ語をなるべく日本語に直して欲しい

意見交換の時間がもう少しあると良いと思えます。ゴルフ場の農薬はどのようにになっているのか(地下からの浸透もあると思われるので)

消費者の実感・疑問点がしっくりきます。これからも具体的にできますように。このごろいちごが8週間ももつようになったが薬品がふりかけられているのか不安。残留農薬の果物は皮をむいて食べれば大丈夫か。生協共同購入のみそ煮そば、白身魚フライ(冷凍)は中国で加工されているが調査した上で仕入れているのか

1回のみで終わらずまた実施されるとよいと思う。安値でよいとは思いません。地産地消が全県下へ広がるとよいと思う。

秋田でとれる地産地消を出来るだけ使い、皆さんの口に入る様にして頂きたいと思えます。

情報の氾濫からか、良い悪いが根拠もなく独り歩きしている感が強い。

いろいろな意見等を聞くことが出来それなりの勉強になりました

情報の共有はありえない。常に開かれていないため安心感がない。厚生省事務次官の家庭内食品調達を公開してみは？！

かしこい消費者でありたい。

普段興味がありよく知りたいと思っているがその全部とは思わないが大変勉強になりました。ものすごい苦勞をなさって安全性を守って下さっていることに感謝しました。今後も再度この様な研修をしてほしいと思えます。

食品添加物使用は製造業者の問題(基準内)、その食品を購入するかの判断は個人の消費者が決めるもの。県内産地産地消は大変大事であるが県内の物流ルートが非常に弱い。県の価額を含めた具体的な指導が必要と思う。

質問です。ADIは、子供の場合でも大人と同じだと思えますけど多量に摂取した場合はやはり害があるのでしょうか？赤色や黄色の添加物の入ったものがうちの子は好きなので出来るだけ食べさせないようにしております。いつか他の場所でお答えしていただけたら嬉しいです。

事前にアンケートを求め、回答を添付されていたのは良かった。輸入物が多いだけに、危険なあるいは要注意なものについては早めにPRしてもらいたい。

パネルディスカッションではふみ込んだ意見が出るなど有意義だった。コーディネーターの進行も大変良かった。

それぞれの立場の意見を聞くことができてよかった。

大変率直な質問・意見があり、よかった。残留農薬や鳥インフルエンザ等の話が参考になった。

パネラーは団体代表のみでない方がよい。生産者の本音も(苦しみ)なども聞きたかった。

添加物云々農薬等人間の体に害を及ぼすことをはっきり伝えてほしい。

生産者(製造者)と消費者の間には大きな溝がある。お互いがそれぞれの立場になると少しは理解が出来るのではないのかと思う。

参加者の個々の理解度や主観意識の違いは別にして様々な立場からかなりきつたの無い意見が展開されたことは興味深いものがあった。

消費者はわがままであり添加物の使用は仕方ないがメーカーが法定を遵守するようチェック体制を整備すべき。現状はメーカーのモラル、安全性に対する考え方一つである。製造・消費者に相互理解と知識が必要。

食について理解が深まった。消費者も勉強しているなあと思いました。

野村先生の発言が一番解りやすかった。もっと質問したかった。

農薬、添加物は悪いと思っているパネラー発言にはびっくり。来場者は発言をそのまま鵜呑みにしてしまうのでは？(逆効果)

生産者の意見にはがっかりであった。

安心して食ができるようますますがんばって下さい

食品添加物の一括表示をやめさせてほしい

米国から輸入されているレモン・グレープフルーツに散布されている農薬に問題はないか。中国の水、土壌、大気汚染は進んでいるが、輸入して大丈夫か。